

令和4年8月5日

那須烏山市長 川俣 純子 様  
那須烏山市議会議員 渋井 由放 様



## 要 望 書

平素より、わたしたち市民の安全・安心・快適な生活を維持するため、様々な行政・公共サービスの提供にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、少子高齢化の影響に伴う人口減少が加速する中、本市においては、子育て支援を重点施策に位置づけ、子育て施設の機能充実が推進されることになっています。

しかし、市内における子育て施設・設備の多くが老朽化するばかりで、充実に向けた整備・更新が進められているとは言い難い状況にあります。一方、公園機能の充実と安全安心を確保するために予算計上された「清水川せせらぎ公園」の改修事業につきましては、実際の使い手である私たち子育て世代の考えや意見を確認されることなく市議会の修正動議により2度までも減額されるなど、私たちの期待を大きく裏切る結果となったことは無念の一言であります。

こうした経緯を踏まえ、子育て施設・サービスの充実が適時かつ確実になされるよう、まずは以下の項目の着実な実施について、有志による署名を添えて強く要望いたします。

川俣市長及び渋井市議会議員におかれましては、将来の社会を担っていく子ども達を預かる子育て世代の市民の声に真摯に耳を傾け、しっかりとした説明責任を果たしていただくとともに、行政・議会が相互に密な連携を図りながら、円滑な市政運営に努めていただくようお願いいたします。

### 記

- 1 清水川せせらぎ公園をはじめ、子どもからお年寄りに至るまで、みんなが楽しく安全に利用できる公園の充実を図ること。特に、耐用年数が経過して老朽化が著しい遊具や機能が不足する設備等については、市民の安全安心及び利便性の向上の観点から、速やかに修繕又は更新を行うこと。
- 2 市こども館は老朽化が著しいことに加え、建物及び園庭が非常に狭い状況にあります。また、ソフト面での工夫も乏しく、サービスの質の低下が見られるなど、十分な子育て活動の拠点になっていない状況です。安全性及び機能性を確保し、活発な子育て活動ができる拠点整備に向け、早急な改善策を講じること。
- 3 現在、浸水想定区域内に建てられている市立「にこにこ保育園」の早期移転を図るため、新たな認定こども園の整備が進められていますが、園児の安全と保護者の不安払拭ならびに利便性向上を第一に考え、利用者・運営者の意見を早急に把握した上で、1日も早い開園に向けた準備を進めること。